

全天候型測定データ記録装置

チャンネル切換器

(KADEC-U/KADEC-UV用)

取扱説明書

ユーナシステム株式会社

ご注意

1. 本説明書の内容の一部または、全部をコーナシステム（株）の許可なく無断転載することは、禁止されています。
2. 本説明書の内容に関して予告なしに変更することがあります。
3. 本説明書の内容について、ご不審な点、誤り、記載もれなどおきづきのことが有りましたらコーナシステム（株）へご連絡ください。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびは、コーナシステム「KADEC-Uシリーズ・全天候型測定データ記録装置」をお求めいただき、誠に有難うございます。

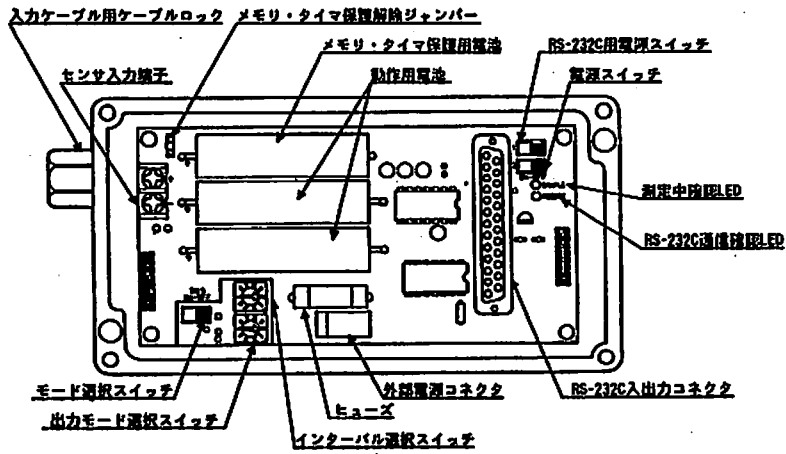
多チャンネル入力切換器は、1チャンネル型のKADEC-U(UV)に接続することにより、3から6チャンネルまでの入力信号を切り換えながら順次記録することができます。ご使用前にこの取り扱い説明書を十分お読みのうえ正しくおつかいくださるよう、お願い致します。

ご使用前の注意

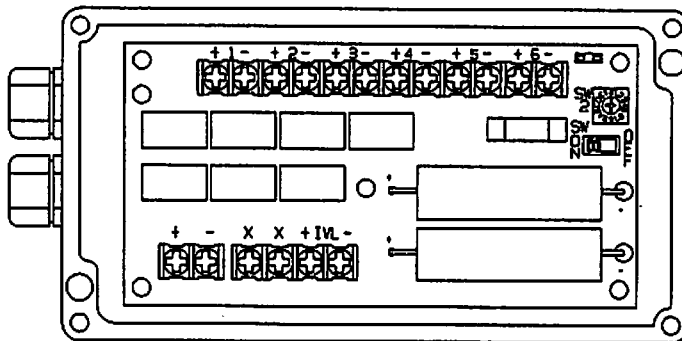
- ※ 本器は、KADEC-Uまたは、KADEC-UV専用です。
- ※ データメモリをチャンネル数で分割しますので、連続記録時間が変わります。
- ※ インターバル時間は、10分以上で使用してください。
- ※ KADEC-U(UV)には、'V-OUT'端子が必要です。
- ※ データ処理は、スタンダードソフトの「KDUMPLX」をご用意ください

計測準備 (名称)

(1) . KADEC-U (UV) の名称



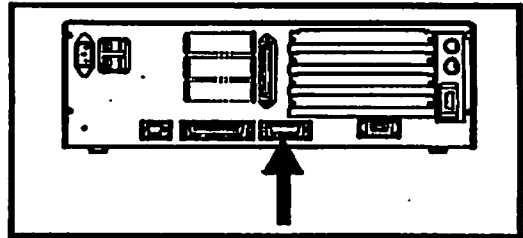
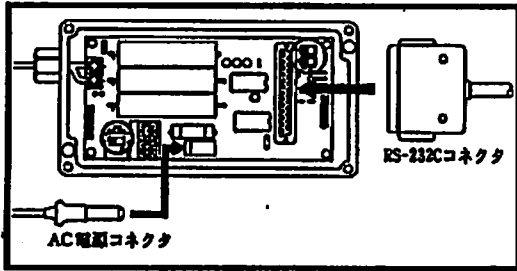
(2) . 多チャンネル入力切換器の名称



(3) . メモの設定および、タイマーの確認

- ① データ転送ケーブルと外部AC電源アダプタを図の様に接続し、KADEC-Uの設定を図の様にします。(○で囲んだところ)

- ② コンピュータ(PC9800)の后面パネルのRS232Cコネクタに接続します。



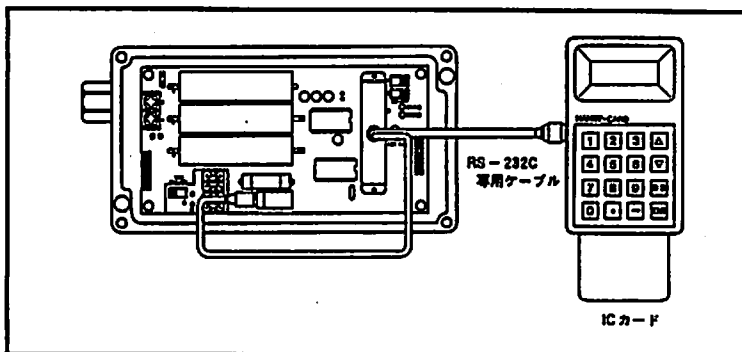
- ③ コンピュータのディスクドライブ1にスタンダードソフトをセットして電源を入れてください。
- ④ ファンクションキー を押してKADEC-Uの日付、時間を確認してください。もし、変更する場合は、スタンダードソフトの取扱説明書を参照して変更を行ってください。
- ⑤ 確認が終了しましたらデータ転送ケーブルと外部AC電源ケーブルをはずしKADEC-Uのスイッチ(SW-1、SW-2、SW-3)をすべてOFFにしてください。
- ⑥ HANDY-CARDを使用するときは、下記の様に結線して下さい。

「initial set」のモードで時間設定、メモの設定を行います。表示内容は、カーソルを操作することにより右図の順で表示が変化します。

詳細については、HANDY-CARDの取扱説明書を参照してください。

T :	8 9 0 7 1 3	1 7 0 5 0 0
F :		
1 :		
2 :		
3 :		
4 :		
5 :		

<HANDY-CARDの表示>

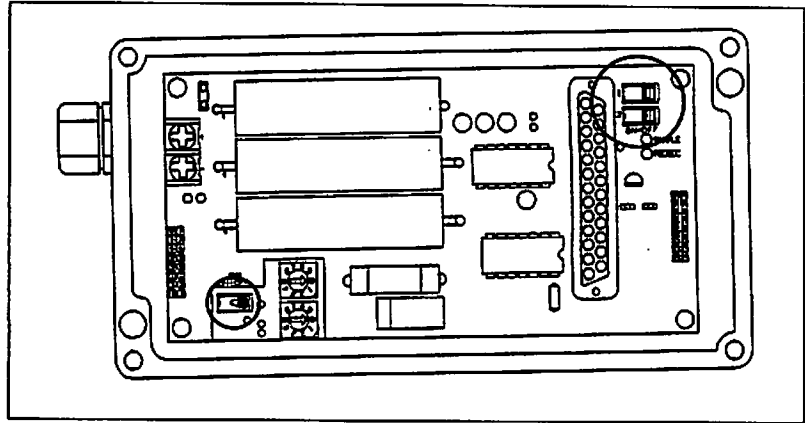


計測開始

計測する前のKADEC-U(UV)と多チャンネル入力切換器の状態

KADEC-U(UV)

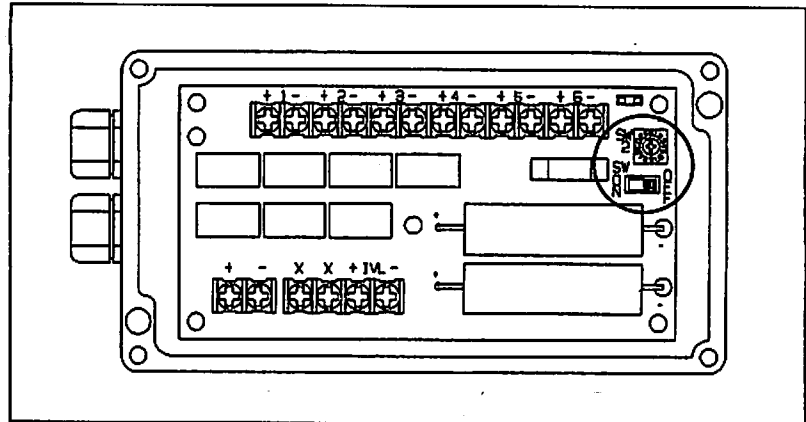
- a. SW1は、OFF
- b. SW2は、OFF
- c. SW3は、OFF
- d. モードスイッチとインタータイムは、任意の位置



多チャンネル入力切換器

- a. 電源スイッチは、OFF
- b. チャンネル選択スイッチは、0の位置

(保存の状態)



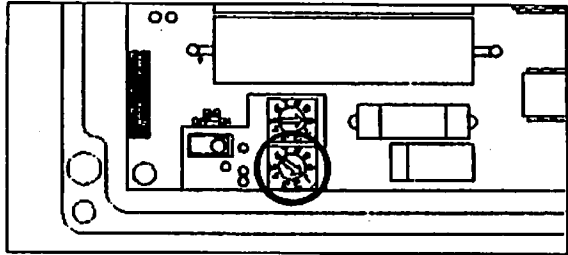
計測開始 (各スイッチの操作方法)

KADEC-Uの設定を番号順に○で囲んだところに注意して操作してください。
 (例、サーミスタ温度センサの3チャンネルで、10分インターバルの場合)

① 入力の種類

- [0] ~ 電圧
- [1] ~ 温度
- [2] ~ 抵抗

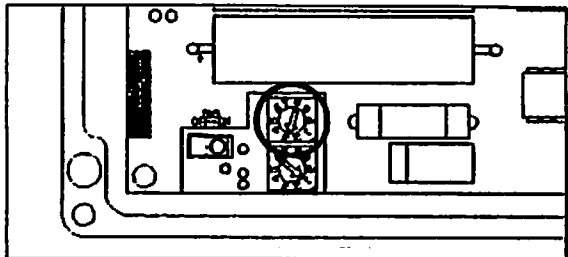
<KADEC-U>



② インターバルタイム

- [0] ~ 10秒
- [1] ~ 30秒
- [2] ~ 60秒
- [3] ~ 10分
- [4] ~ 30分
- [5] ~ 60分

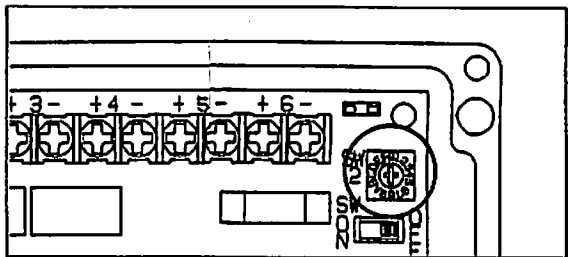
<KADEC-U>



③ チャンネル選択スイッチ

- [0] ~ リセット
- [1] ~ 未使用
- [2] ~ 2チャンネル
- [3] ~ 3チャンネル
- [4] ~ 4チャンネル
- [5] ~ 5チャンネル
- [6] ~ 6チャンネル

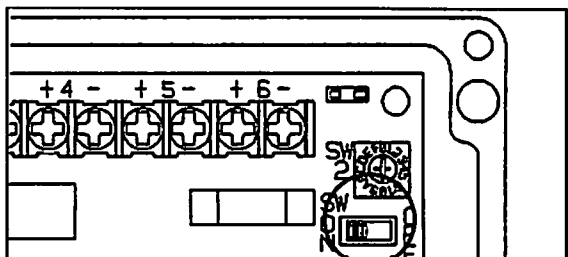
<多チャンネル入力切換器>



④ 電源スイッチ

- [ON] ~ 電源オン
- [OFF] ~ 電源オフ

<多チャンネル入力切換器>



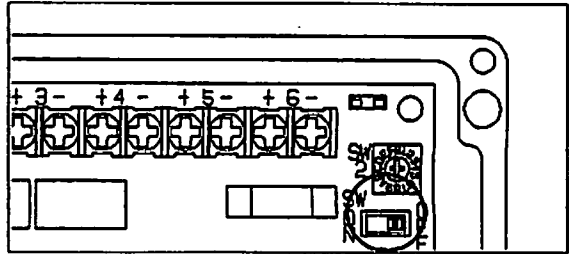
※ リレーの動作音を確認する
 (リレーのリセット操作)

計測開始 (各スイッチの操作方法)

⑤ 電源スイッチ

- [ON] ~ 電源オン
- [OFF] ~ 電源オフ

〈多チャンネル入力切換器〉

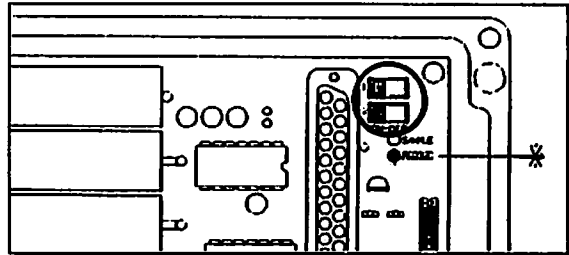


⑥ 電源スイッチとRS232C用電源スイッチ

- [ON] ~ 電源オン
- [OFF] ~ 電源オフ
- [ON] ~ RS232C用電源オン
- [OFF] ~ RS232C用電源オフ

※KADEC-Uを通信状態にする

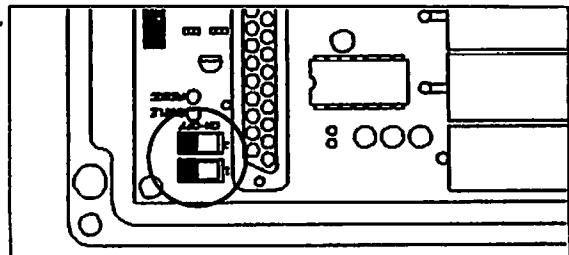
〈KADEC-U〉



⑦ 電源スイッチとRS232C用電源スイッチ

- [ON] ~ 電源オン
- [OFF] ~ 電源オフ
- [ON] ~ RS232C用電源オン
- [OFF] ~ RS232C用電源オフ

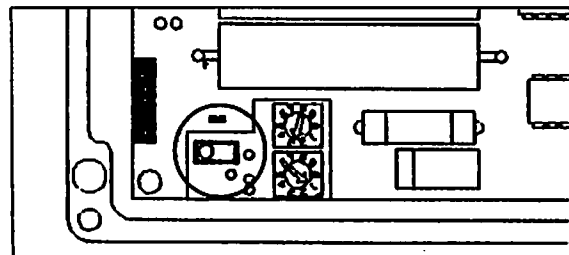
〈KADEC-U〉



⑧ 測定スイッチ

- [ON] ~ 測定オン
- [OFF] ~ 測定オフ

〈KADEC-U〉

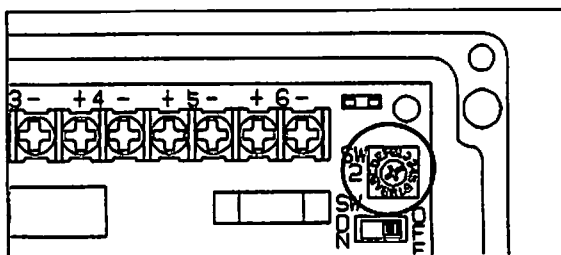


計測開始 (各スイッチの操作方法)

⑨ チャンネル選択スイッチ

- [0] ~ リセット
- [1] ~ 未使用
- [2] ~ 2チャンネル
- [3] ~ 3チャンネル
- [4] ~ 4チャンネル
- [5] ~ 5チャンネル
- [6] ~ 6チャンネル

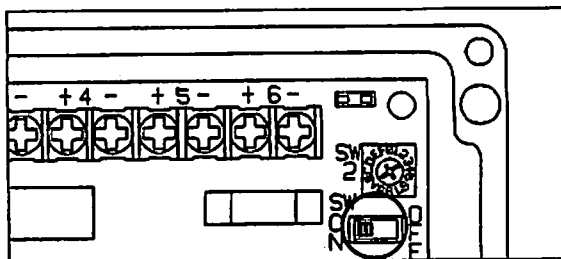
〈多チャンネル入力切換器〉



⑩ 電源スイッチ

- [ON] ~ 電源オン
- [OFF] ~ 電源オフ

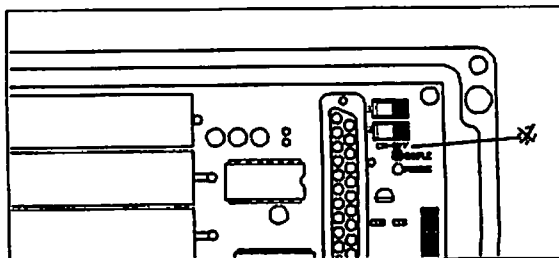
〈多チャンネル入力切換器〉



⑪ 測定確認LED確認

※測定確認LEDが、3回点灯
することを確認
(測定スタート)

〈KADEC-U〉



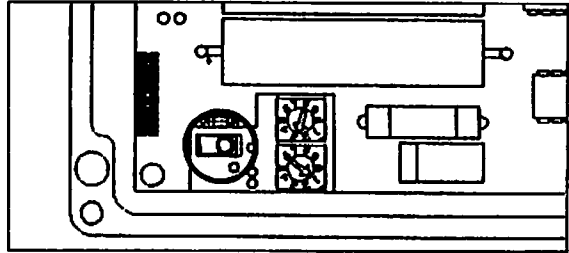
計測終了

計測期間が終了したとき、KADEC-Uを測定終了状態にし、多チャンネル入力切換器のリレーをリセットします。その順番を図に従って操作してください。
(○で囲まれたところ)

① 測定スイッチ

- [ON] ~ 測定オン
- [OFF] ~ 測定オフ

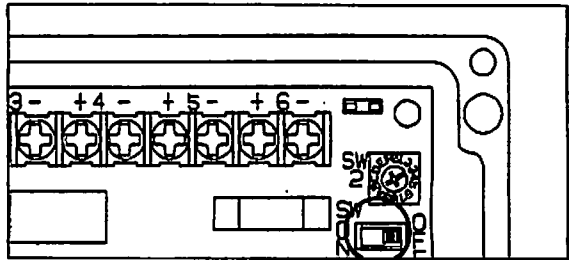
<KADEC-U>



② 電源スイッチ

- [ON] ~ 電源オン
- [OFF] ~ 電源オフ

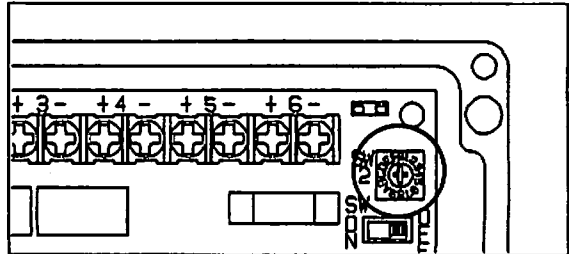
<多チャンネル入力切換器>



③ チャンネル選択スイッチ

- [0] ~ リセット
- [1] ~ 未使用
- [2] ~ 2チャンネル
- [3] ~ 3チャンネル
- [4] ~ 4チャンネル
- [5] ~ 5チャンネル
- [6] ~ 6チャンネル

<多チャンネル入力切換器>

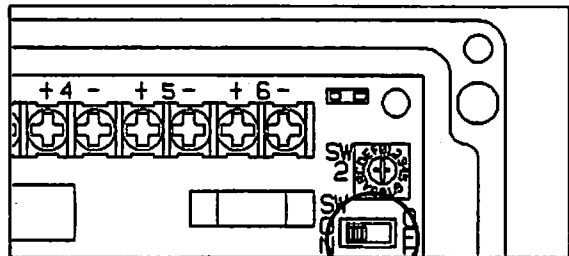


④ 電源スイッチ

- [ON] ~ 電源オン
- [OFF] ~ 電源オフ

※ リレーの動作音を確認する
(リレーのリセット操作)

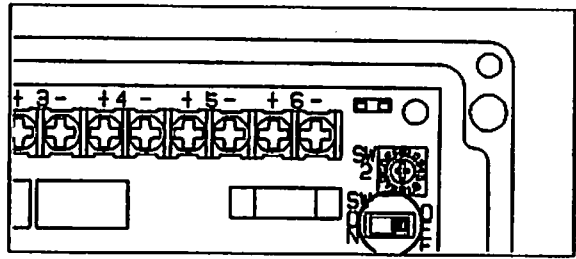
<多チャンネル入力切換器>



⑤ 電源スイッチ

- [ON] ~ 電源オン
- [OFF] ~ 電源オフ

<多チャンネル入力切換器>



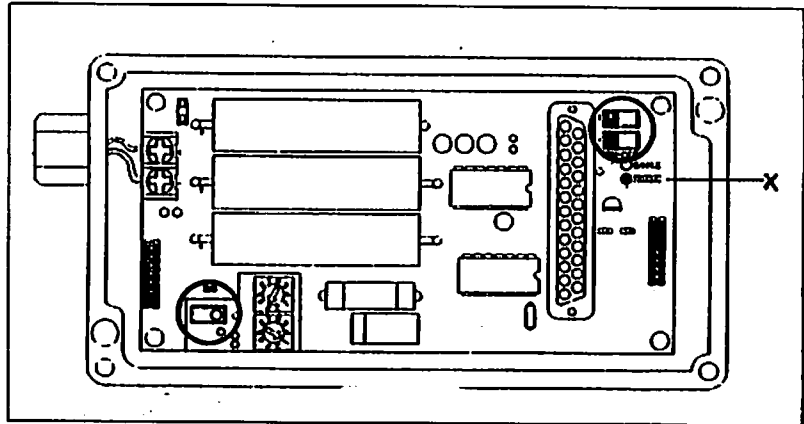
データ転送

KADEC-Uにメモリーされているデータをコンピュータに転送します。下記の順に従って操作してください。

(1). 1-1の計測準備の(2)と同様に接続及び設定を行って下さい。

KADEC-U (UV)

- a. SW1は、ON
- b. SW2は、ON
- c. SW3は、OFF
- d. モードスイッチは、1
- e. インターバルスイッチは、3



- (2). コンピュータのディスクドライブ1にスタンダードソフトをセットして電源を入れます。
- (3). スタンダードソフトが立ち上がり、画面の下側に処理項目が表示されます。各処理項目は、コンピュータのファンクションキー **f・1** ~ **f・10** に対応しています。
- (4). **f・2** キーを押してデータ転送の項目を選択します。次に入力の種類を"U"または、"UV"にします。
- (5). KADEC-Uからコンピュータにデータ転送が開始します。
- (6). **f・7** キーを押してデータをディスクに保存します。
- (7). 多チャンネル用ソフトを起動してデータの処理を行います。

※ KADEC-Uを再び測定スタートしないかぎりデータは、保存されます。

※ スタンダードソフトの操作方法は、バージョンによって多少異なる事がありますので、ご了承下さい。